

部 会 議 事 録

(まち協全体会資料)

部 会 名	片瀬・江の島まちづくり協議会 全体会
会 議 名	令和6年度 第8回片瀬・江の島まちづくり協議会
開 催 日 時	2024年12月19日(木) 午後6時00分から午後7時40分
開 催 場 所	片瀬市民センター ホール
出 席 者	委 員：17人(総数20人) 出席者：畠山会長、澁谷副会長、岡田委員、馬場委員、藤原委員、塚田委員、徳江委員、小原委員、甘粕委員、金子委員、飯森委員、阪井委員、山本委員、上條委員、山岡委員、矢島委員、岡野委員 欠席者：岩田委員、山口委員、三觜委員、 事務局：5人 森井センター長、高橋主幹、笠原、下間、柴田、脇田
報 告	3 報告 (1) 前回全体会について 委員の皆様には開催通知とともにお送りしているところ。修正点等あればこの場で教えていただきたい。 →意見なし (2) 地域団体からの情報提供等 特になし (3) WG開催結果報告について ア 片瀬&江の島歴史文化見直しWG (委員) これまでに会議を3回、現地調査を2回行った。 現地調査を実施する中で、江の島道の沿道には文化財がいくつかあるが、その文化財のメンテナンスを誰が行っているのかは不明確。一部はまちづくり協議会や教育委員会の記載があったが詳細は不明なので、どこに維持管理をする責任の所在があるのかを明らかにする必要がある。 今後は、市関係部署である郷土歴史課等の市の関係課との協議が最優先と考えている。 イ ごみとマナーの向上を考えるWG (委員) 今までは市の取組(ごみの処理方法等)を確認してきたが直近のWGでは、ゴミを減らすための周知活動を行っていくための取組について協議を行った。 取組内容としては啓発ポスターの制作を考えており、具体的なスケジュールとしては、来年度8月頃までにポスタ

一制作における予算要求の準備を行い、12月に片瀬小学校及び中学校、湘南白百合学園に対してポスター制作を依頼し、1月に回収。可能であれば2月に地区集会を開催し、そこで審査を行いたいと考えている。

ウ 広報WG（ 委員）

広報WGでは、まずにまちづくり通信の内容についての検討がありました。基本的にはWGが新たに発足したため、まちづくり通信の主な掲載内容としてはWGの紹介をする方向性で考えている。

また、公式ラインの運用を目指すうえで、予算が取れるか取れないかは別問題として、まずは電子回覧版を作ってみたらどのように見えるのか、どのような情報が入るのか、電子回覧板には適切なのかを確認いただくために、回覧板試験運用のオープンチャットの登録をお願いしたところ。その確認方法について説明させていただく。

～～～ 委員から操作方法について説明～～～

【質問・意見】

[委員]

オープンチャットに掲載されている動画に人の顔が映っているが、顔が公開されると特定されてしまう恐れがあるのではないかと。

[委員]

現在は試運転の状態であり、まちづくり協議会委員の中での運用であるため顔が映り込んでしまっている。本運用では配慮が必要であることは認識しており、実際の運用に向けてそのような意見をどんどん挙げていただきたい。

[委員]

将来的に編集権限を各地域団体の委員にも共有できるのか。

[委員・ 委員]

今は試験運用なので、広報WGメンバーのみが編集権者となっているが、将来的には各地域団体にも編集権を与える想定でいる。

[委員]

片瀬山3丁目自治会 氏の電子回覧板の案件と混同してしまう。

[委員]

氏から説明のあった案件は、ビジネスアカウントによる自治会のLINEグループであり、今回提案したものとは性質が異なるものである。

[委員]

ビジネスアカウントによるLINEグループと今回のオープンチャットではどちらが良いのか。

[委員]

ビジネスアカウントはお金がかかる。オープンチャットは今のところ 5,000 人まで登録可能なので、少人数団体であれば推奨したいところ。

[委員]

各WGの議事録をこのオープンチャットに掲載することも可能か。可能であれば、全体会の簡素化になるのではないか。

[委員]

掲載は可能だが、公開して問題ないか確認が必要となる。

[事務局]

委員同士のオープンチャットであれば問題ないが、今回のオープンチャットの目的とは逸脱してしまうので、別口のオープンチャットグループを作成する等、今後検討させていただく。

エ 生活防災を考えるWG (委員)

生活防災WGでは、12月16日(月)に津波避難経路を確認するためにフィールドワークを実施した。江の島地区では、認知度の低い津波避難経路Bルート(消防団第1分団からの裏道)を中心に、津波浸水想定区域との境目となる中間地点等の確認を行った。西浜地区では国道134号線沿いを中心に確認をいたしました。

今後については、地図上に候補場所の画像を追加し、WGメンバーで振り返りを実施し、どの場所にどのようなデザインが効果的か、また壁面に直接書くのか、落書きやメンテナンス、維持管理費用などを含めて協議を進めていきたいと考えている。

○協力員の紹介

生活防災を考えるWGにおいて、前回WGから参加している 氏を協力員として承認いただきたい旨を事務局から説明。

[会長]

紹介いただいた 氏は被災地の取材経験もあり、災害の知見も豊富。ぜひ協力員として承認いただきたい。

→ 異議なし。生活防災を考えるWGの協力員とし承認することとする。

議 題

4 議題

(1) 今年度及び来年度に向けたスケジュールについて

今年度は地区集会を開催しない方向性だが、来年度以降で開催したいWGがあれば挙手願いたい。現段階では、ごみとマナーの向上を考えるWGのみ再来年の2月あたりに要望をいただいているところ。

また、従前から全体会において地域団体等で出た課題等について、まちづくり協議会にて都度議論していくこととなっているが、現段階で全体会にて議論していく課題・テーマ等があればお伺いしたい。

【決定事項】

地区集会について、ごみとマナーの向上を考えるWG以外は立候補なし。各WGの進捗状況に応じて開催する必要がある場合は、その都度全体会にて調整を図ることとし、開催方法は全体会にて意見を伺いながら進めていくこととする。

全体会にて議論していく課題・テーマ等については、現段階で特になし。

(2) 片瀬地区郷土づくり推進会議運営要領の改訂（案）について
資料1のとおり事務局から改訂ポイント等について説明。

【質問・意見】

[委員]

第3条の「要綱第3条第1項第1号」はどのような内容か。

[事務局]

藤沢市郷土づくり推進会議設置要綱第3条第1項第1号には「市民、地域団体等の地域の意見を集約することにより地域の課題を把握し、市との協働により課題解決に向けた方向性を検討すること。」と明記されている。

[副会長]

片瀬公民館評議員会の名称は、市民センター公民館の一体化によって変更となるのか。

[事務局]

名称が変わることが想定されるため、今後改訂作業が必要となる。

[委員]

第10条第1項の記載について、現状では部会が存在せず、ワーキングのみがあるため、「部会を設置し」ではなく「部会を設置できる」の方が適切ではないか。

[事務局]

委員ご指摘のとおり、できる規定に修正することとする。

【決定事項】

第10条の記載について「できる」規定にすることとする。事務局の方で修正を加えて、来月の全体会にて改めて修正した要領をお示しすることとする。

(3) 湘南白百合学園中学・高等学校との交流について

資料2のとおり事務局から説明。7月に開催した青少年育成協力会主催の「潮の子フォーラム」にて市民センターとの交流が始まり、先月には「市民と市長の意見交換会」も開催したところ。

今後も湘南白百合学園中学・高等学校としては、地域との交流を継続して行っていきたいと考えているため、その窓口となる団体として、まちづくり協議会としたいと考えているが、委員の皆様のご意見を伺いたい。

【質問・意見】

[委員]

歴史文化見直しWGでは、今後中高生の協力を仰ぎたいと考えていた。

[事務局]

まちづくり協議会が窓口となる件については、ご意見いかがか。

[会長]

市長と意見交換会をしたと聞いているが、市長の意見はいかがだったか。

[事務局]

明確に発言していたわけではないが、湘南白百合学園中学・高等学校が地域に入ってくることには好意的に捉えていたと感じた。

[会長]

今回の案件についても、最初にある程度の取り決めに交わした上で進めた方が良い。

[事務局]

地域との関わり方の一例として、スポーツの会であれば、部活動体験等でマッチングができると感じた。

[委員]

スポーツの会では、イベントの際に募集人員を片瀬地区在住の方に限っていた。湘南白百合中高に通っている方は、片瀬地区外に在住の方が多いかと思うので、共同でやるとしても別口で開催する必要があると感じた。

[事務局]

事務局としては、最初から全ての事業に関与させることは想定していない。委員ご指摘のとおり、各地域団体によってやり方が異なるため、最初の窓口としてまちづくり協議会を通すような形を想定している。

[委員]

事務局や委員についても入れ替わるため、まちづくり協議会が窓口になるのであれば、会長のご意見のとおり最初の取り決めが重要だと感じた。

[委員]

	せっかくの湘南白百合学園側からの提案なので、まずは意見交換からやってみてはいかがか。 〔事務局〕 意見交換という意見があったが、今後について、この全体会にてまちづくり協議会が地域の窓口になることが承認されれば、湘南白百合学園を1月の全体会にお招きし、顔合わせの機会を創出する予定であった。 〔副会長〕 全体会でも意見がまとまっていないので、まずは事務局と会長及び副会長、その他委員何名かで湘南白百合学園側に伺い、具体的な話を進めていく形にしてはいかがか。 〔事務局〕 事務局としては、副会長からのご意見いただいた案で進めていく形としたいがいかがか。 【決定事項】 異議なし。湘南白百合学園側との窓口をまちづくり協議会にすることを基本線にし、まずは会長及び副会長、委員数名と事務局で湘南白百合学園側と顔合わせを行うこととする。人選は事務局と会長で調整する。												
その他	5 その他 (1) 当面の日程 <table><tr><td>歴史文化</td><td>1月17日(金)</td><td>17時30分～</td></tr><tr><td>ごみとマナー</td><td>1月23日(木)</td><td>18時00分～</td></tr><tr><td>生活防災</td><td>1月17日(金)</td><td>18時30分～</td></tr><tr><td>広報</td><td>1月16日(木)</td><td>18時30分～</td></tr></table> (2) 認知症のかかわり方について 配布資料のとおり事務局から説明。配布依頼者の馬場会長から補足説明。 6 閉会 以 上	歴史文化	1月17日(金)	17時30分～	ごみとマナー	1月23日(木)	18時00分～	生活防災	1月17日(金)	18時30分～	広報	1月16日(木)	18時30分～
歴史文化	1月17日(金)	17時30分～											
ごみとマナー	1月23日(木)	18時00分～											
生活防災	1月17日(金)	18時30分～											
広報	1月16日(木)	18時30分～											
次回会議 開催日時・場所	次回全体会 日時 2025年(令和7年)1月24日(金) 15時から 場所 片瀬市民センター ホール												